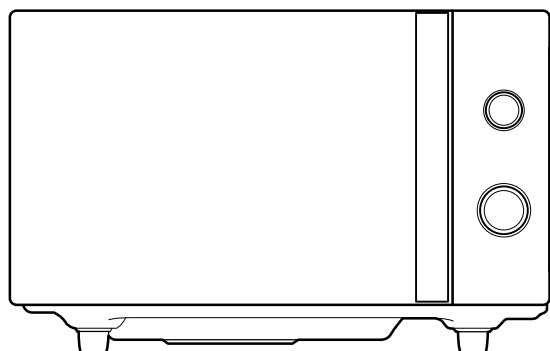


電子レンジ

ANGV-MOF17-A



取扱説明書 保証書つき

この度は e angle 電子レンジをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読み
のうえ、正しくお使いください。
とくに「安全上のご注意」は必ずご使用前にお
読みください。
お読みになった後は、大切に保管していただ
き、取り扱いがわからない時や、不具合が生じ
た時にお役立てください。

この製品は日本国内用に設計されていますので、
日本国外では使用できません。
FOR USE IN JAPAN ONLY.

— もくじ —

安全上のご注意.....	2
各部のなまえ.....	8
本機でできること	9
据え付けの確認.....	10
使える容器・使えない容器.....	11
手動調理：出力と時間を設定して あたためる.....	12
手動調理：加熱時間のめやす.....	13
自動調理：お弁当をあたためる	14
自動調理：飲み物をあたためる	16
自動調理：解凍する	18
お手入れのしかた	19
うまく仕上がらないときは.....	20
故障かな？と思ったら	21
仕様	22
アフターサービス	23
保証書	裏表紙

安全上のご注意

— 必ずお守りください —

ここに示した注意事項は、お使いになるかたや他のかたへの危害と財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために重要な内容を記載しています。お使いになる前によくお読みになり、記載事項を必ずお守りください。

表示の説明



危険

取り扱いを誤った場合、死亡または重傷を負う可能性が特に高い内容です。



警告

取り扱いを誤った場合、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。



注意

取り扱いを誤った場合、傷害を負う、または物的損害が発生することが想定される内容です。

図記号の説明



禁止(してはいけない内容)を示します。



強制(実行しなくてはならない内容)を示します。

危険



分解禁止

分解・修理・改造をしない

火災・感電・けがの原因になります。修理は、お買い上げの販売店または家電の119番にお問い合わせください。



接触禁止

吸気口、排気口、本体の穴やすき間に針金や指などの異物を入れない

感電・異常作動・けが・故障の恐れがあります。異物が本体に入った場合はすぐに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店または家電の119番にお問い合わせください。

警告

本製品の取り扱いについて



禁止

子ども、取り扱いに不慣れな人、補助を必要とする人だけで使わせたり、乳幼児の手の届くところで使わない

やけど・感電・けがの原因になります。操作できる人が必ず付き添ってください。



水ぬれ禁止

本体を水に浸けたり、本体や操作部に水をかけたりしない

ショート・感電の原因になります。



食品分量、容器など本書記載の内容に従って調理する

発火・火災の原因になります。



禁止

屋外で使用しない

雨水のかかる場所で使用すると、漏電・感電の原因になります。



禁止

家庭用以外(店舗などでの長時間使用や不特定多数の人の使用など)では使用しない

故障や発煙・発火などの不具合の原因になります。



本製品に異常が発生した場合は、すぐに使用を中止する

本製品に異常が発生したまま使用を続けると、発煙・発火・感電・漏電・ショート・けがなどの原因になります。

<異常・故障例>

- ・電源プラグ・コードが異常に熱くなる
- ・電源が自動的に切れないことがある
- ・焦げくさいにおいがしたり、異常な音や火花(スパーク)がでる
- ・ドアに著しいガタや変形がある
- ・ドア、または庫内とドアが接する面に損傷がある
- ・触ると電気を感じる など

上記のような場合は、すぐに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店または家電の119番にお問い合わせください。



禁止

調理以外の用途では使用しない

故障・やけど・けが・火災の原因になります。市販のレンジ加熱用のゆたんぼ、ほ乳瓶(消毒ケース)、玩具などは加熱しないでください。

警告

電源コード・電源プラグについて



ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしない

感電・けがの原因になります。



禁止

電源コードが傷んでいたり、コンセントの差し込みがゆるいときは使わない

感電・ショート・発火の原因になります。



電源プラグは根元まで確実に差し込む
差し込みが不完全だと、感電や発熱による火災の原因になります。



電源プラグの刃および刃の取り付け面に付着したほこりは乾いた布でふき取る
ほこりが付着していると、火災・感電の原因になります。



禁止

電源プラグをなめさせない
感電・けがの原因になります。特に乳幼児には触れさせないように注意してください。



電源は交流100 Vで、定格15 A以上のコンセントを単独で使用する

交流100 V以外で使ったり、コンセントを他の器具と同時に使うと、火災・感電・故障の原因になります。延長コードを使用したり、たこ足配線などで定格を超えると、異常発熱し、発火の原因になります。



禁止

電源コードを束ねて使わない
熱の逃げ場がなくなって高温になり、ショート・発火の原因になります。



禁止

電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない

電源コードや電源プラグを以下のような状態で使うと、感電・ショート・火災の原因になります。傷つける、加工する、無理に曲げる、高温部に近づける、ねじる、引っ張る、重い物を載せる、挟み込む など



プラグを抜く

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず電源プラグを持って引き抜く

感電やショートによる発火の原因になります。



プラグを抜く

お手入れは必ず電源プラグをコンセントから抜き、冷めてから行う

やけど・感電・けがの原因になります。



プラグを抜く

長期間使用しないときは電源プラグをコンセントから抜く

絶縁劣化による感電・漏電・火災の原因になります。



水ぬれ禁止

電源コード・電源プラグを水につけたり、水をかけたりしない

ショート・感電の原因になります。



禁止

電源コードは排気口などの高温部に近づけない

電源コードを傷める原因になります。

食品の加熱について



禁止

食品を加熱しすぎない

食品の分量に対して、加熱時間が長いと、発煙・発火・火災・やけどの原因となります。少量の食品(100 g未満)や小さい食品は自動調理で加熱せず、手動調理で様子を見ながら加熱してください。加熱しすぎた場合は、1～2分程度庫内で冷ましてから取り出してください。



手動調理で加熱するときは設定時間を控えめにし、様子を見ながら加熱する

食品の分量に対して、加熱時間が長いと、過熱により発火や発煙、やけどの原因になります。水分が少ない食品、薄く小さく切った野菜、油脂の多い食品・液体は、少量だけ加熱すると焦げやすく、煙が出たり、発火したりすることがあります。



警告

食品の加熱について（つづき）



殻や膜のある食品は、割れ目や切れ目を入れてから加熱する

破裂して、やけど・けがの原因になります。



禁止

市販のレンジ加熱用金属製調理器具は使用しない

テーブルプレートの破損や本体の故障の原因になります。



卵を加熱する場合は溶きほぐしてから加熱する



禁止

生卵やゆで卵（殻付き・殻なし）目玉焼きは加熱しない

レンジで卵を加熱すると破裂し、本体の破損・けが・やけどの原因になります。取り出した後に、突然破裂することもあります。



生卵



ゆで卵



黄身や目玉焼き



禁止

次のような状態のまま加熱しない

やけど・けが・火災の原因になります。

- 鮮度保持剤（脱酸素剤など）を入れた状態
- 包装や食品にラベルやテープを貼った状態
- ビン詰など密閉性の高い容器にふたや栓などをした状態
- 缶詰の缶のままの状態
- 市販のレトルト食品の袋のままの状態

鮮度保持剤を取り出し、ラベルやテープを剥がし、ふたや栓をはずし、缶詰などは別の容器に移しかえて加熱してください。

液体の加熱について（突沸*に注意）



禁止

液体を加熱しすぎない

加熱中や加熱後に突然沸とう（突沸）して飛び散り、やけど・けがの原因になります。

- 飲み物（水・牛乳・コーヒーなど）
- とろみのある物（カレー・シチューなど）
- 油脂分の多い物（生クリーム・バターなど）

加熱しすぎた場合は、1～2分程度庫内で冷ましてから取り出してください。



禁止

加熱直後は上からのぞき込まない

突然沸とう（突沸）して飛び散り、やけど・けがの原因になります。



禁止

加熱直後はインスタントコーヒーなどの粉末や、ミルクなどの液体を入れない

突然沸とう（突沸）して飛び散り、やけど・けがの原因になります。



飲み物をあたためるときは、背の低い広口の容器を使用する

背の高い細口の容器を使用すると、加熱中や加熱後に突然沸とう（突沸）して飛び散り、やけど・けがの原因になります。



加熱前によくかき混ぜる

加熱中や加熱後に突然沸とう（突沸）して飛び散り、やけど・けがの原因になります。

*突沸とは…過加熱状態（沸点を超えても沸とうしない状態）の液体に、何らかの刺激（振動を与える、調味料を入れるなど）が加わると、突然、爆発するように沸とうして中身が飛び出る現象です。

警告

アース線について



アースを確実に取り付ける

故障や漏電のときに感電する恐れがあります。

- アース線をアース端子に接続してください。

➡「アース線の取り付けについて」**10 ページ**

- ガス管や水道管、電話や避雷針のアース線には絶対に接続しないでください。法令で禁止されています。

- アース端子がない場合や、湿気の多いところや水気のある場所で使用する場合は、アース接地工事（「電気工事士」の有資格者による接地工事）を行ってください。工事はお買い上げの販売店にご相談ください。（本体の価格には、工事費は含まれていません。）

注意

設置に関する注意事項



禁止

不安定な場所や熱に弱い敷物の上に置かない

転倒によるけが・故障や火災の原因になります。以下のような物の上では使わないでください。毛足の長いじゅうたん、ふとん、プラスチック樹脂など



禁止

コンセントが排気口近くになる場所に置かない

コンセントが排気口付近にあると、蒸気により結露し、漏電の原因になります。コンセントが排気口近くにならないように、コンセントよりも高い位置に本体を据え付けてください。



水ぬれ禁止

水のかかる恐れのある場所や湿気の多い場所に置かない

ショート・感電の原因になります。



禁止

直射日光が当たるところに置かない

変色の原因になります。



水平で丈夫な場所に据え付ける

不安定な場所は、騒音・振動・本体落下の原因になり、けがをするおそれがあります。また、庫内の食品が見えにくい高さの位置には設置しないでください。



禁止

炊飯器やポットなどの蒸気がかかる場所に置かない

故障の原因になります。



禁止

火気の近くに置かない

感電・漏電・火災の原因になります。



本体の梱包材はすべて取り除く

梱包材が発火し、火災・やけどの原因になります。



禁止

熱に弱い壁や家具の近くに置かない

蒸気や熱で、傷み・変色・変形の原因になります。



包装用ポリ袋は、乳幼児の手の届かないところに保管または廃棄する

頭からかぶるなどすると、口や鼻をふさぎ窒息する原因になります。

| 安全上のご注意

⚠ 注意

設置に関する注意事項 (つづき)

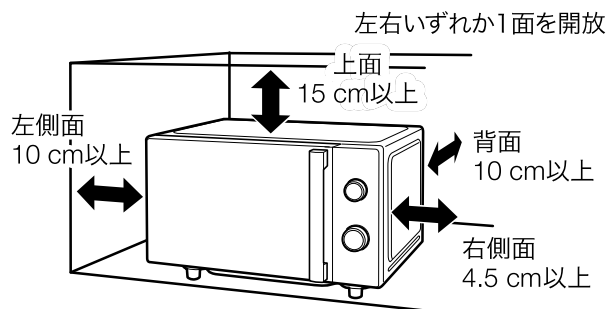


本体上面と壁の距離は下表以上の距離を確保する

場所	上方	左方	右方	前方	後方	下方
離隔距離(cm)	15	10	4.5	開放	10	0

吸気口・排気口などのまわりを密閉した状態で使用すると、過加熱して発火する恐れがあります。放熱や排気による壁の汚れ・変色・結露・故障の原因になります。

後方がガラスの場合、温度差で割れる恐れがあるので、20cm以上離してください。



使用上の注意事項



禁止

ドアに物を挟んだまま調理しない
電波もれや熱もれによる傷害・やけど・発火・火災の原因になります。



禁止

ドアガラスやテーブルプレートの割れ防止のため、以下のような使いかたはしない
ガラスが割れて、けがの原因になります。傷がついてもすぐに割れず、使用中や使用後の熱膨張・熱収縮により割れることがあります。

- ・局部的に熱を加えない、直火をあてない
- ・落したり、強い衝撃を与えない
- ・調理中や調理直後に水をかけたり、急激に冷やさない
- ・傷をつけない(みがき粉・金属タワシなどでお手入れしない)



禁止

食品くずや油などが付いたまま加熱しない
バターやチーズなど、油脂分の多い食品が庫内に付着したまま使用すると、発煙・発火の原因になります。



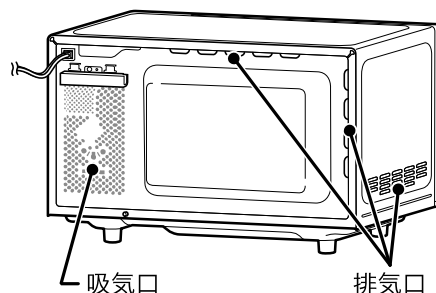
禁止

本体が転倒・落下した場合は、そのまま使用しない
電波もれや熱もれ・感電・やけどの原因になります。電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店または家電の119番にお問い合わせください。



禁止

本体のまわりを密閉した状態にしたり、吸気口・排気口をふさいだりしない
故障・火災の原因になります。ほこりなどがたまらないように定期的にお手入れしてください。また、布や紙の上に本体を置かないでください。



禁止

本体の上に物を置いたり、布などをかぶせたりしない
置いた物が過加熱し、変形・変色する恐れがあります。



禁止

ドアを開けるときの庫内をのぞき込まない
熱気や水蒸気などによるやけどのおそれがあります。



子どもが本製品で遊ぶことがないように注意する

⚠ 注意

使用上の注意事項（つづき）



禁止

ドアに乗ったり、ぶら下がったり、無理な力を加えたりしない

本体が倒れたり落下したり、電波漏れによる傷害・やけどの原因になります。



ドアの開閉時に指などをはさまないよう注意する

けがの原因になります。



禁止

食品容器の出し入れは引きずらない

テーブルプレートに傷が付くと、破損・火花・故障の原因になります。



禁止

庫内で食品が燃え出したときはドアを開けない

勢いよく燃えるおそれがあります。

1. ドアを閉めたまま、時間／重量ダイヤルを「0」に戻し、電源プラグを抜く
2. 燃えやすい物を本体から遠ざけ、鎮火するまで待ち、火の勢いがなかなか衰えないときは、水か消火器で消す

鎮火後、そのまま使用せず、お買い上げの販売店または家電の119番にお問い合わせください。



落雷のおそれがあるときは、電源プラグをコンセントから抜く

故障の原因になります。

加熱における注意事項



禁止

金属製の容器や金串は使用しない

食品を金属製容器に入れてレンジ加熱すると、ドアガラスが割れたり、火花が散ったり、発火する場合があります。

（使用できない金属製容器の例：アルミで加工した紙箱やパック、テープ、金串、金銀模様のある容器、コップなど）



乳幼児用ミルク、ベビーフード、介護食などをあたためるときは、加熱後、かき混ぜてから温度を確認する

やけどの原因になります。



禁止

庫内に食品が入っていない状態で加熱しない

故障・発火の原因になります。



市販のベビーフードは、別の容器に移しかえて加熱する

やけど・けがの原因になります。



禁止

加熱直後は庫内に触れない

長時間加熱や、少量の食品、小さい食品の加熱後は特に庫内が熱くなり、やけどの原因になります。終了直後は庫内に触れないでください。



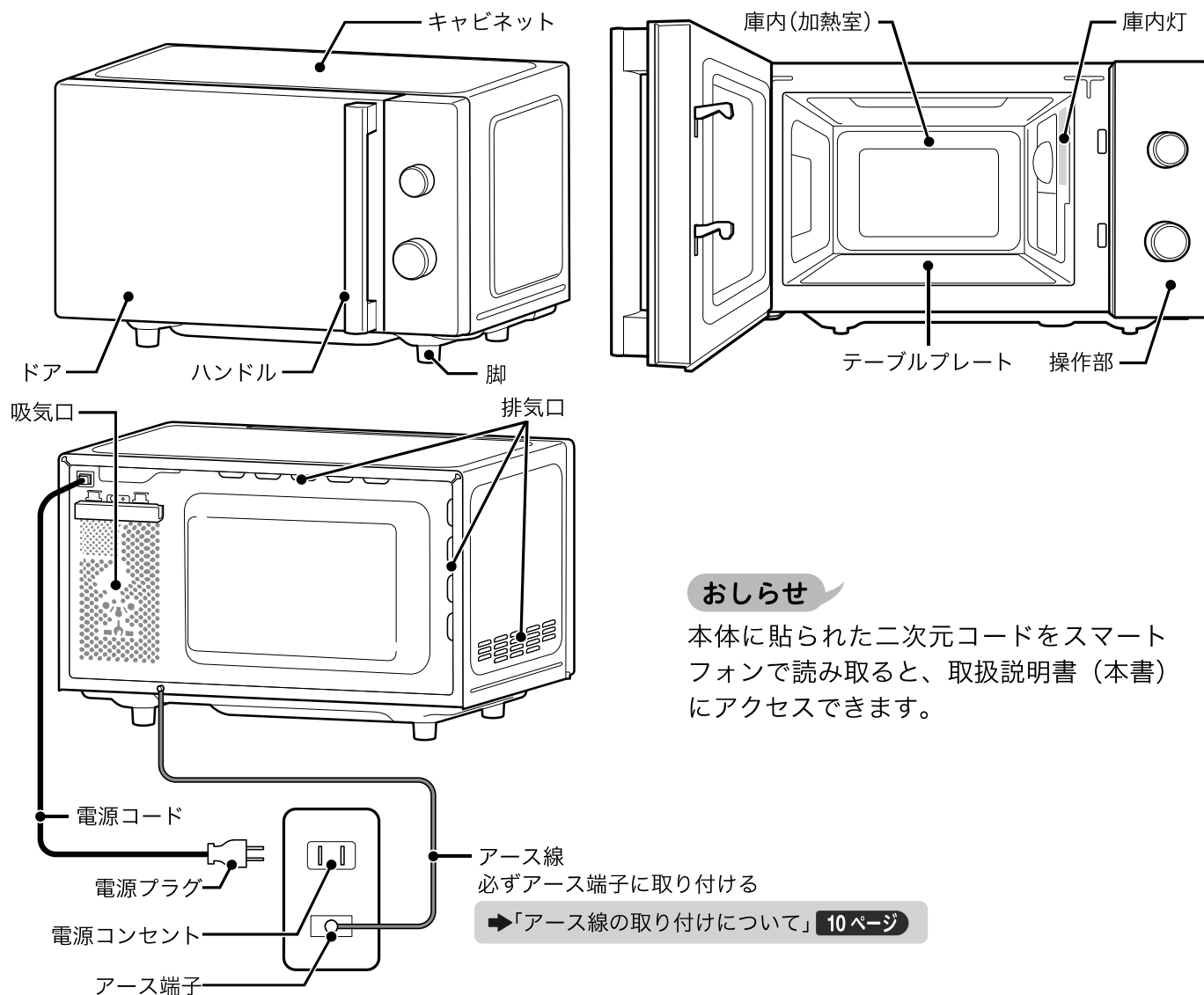
ラップなどのおおいは、ゆっくりと剥がす

蒸気が一気に出てやけどの原因になります。

お願い

- 本体はラジオ、テレビ、無線機器（無線LAN機器、Bluetooth対応機器、2.4 GHz帯の電波を使用する機器）やアンテナ線などから4 m以上離してください。雑音や映像の乱れ、通信エラーの原因になります。
- 医療用ペースメーカーをお使いの方は、本製品を使用する際には専門医師とよくご相談の上、使用してください。

各部のなまえ



おしらせ

本体に貼られた二次元コードをスマートフォンで読み取ると、取扱説明書（本書）にアクセスできます。

庫内灯について

ドアを開けたとき、加熱中に庫内灯が点灯します。

「強」の出力について

お住まいの地域により異なります。

- 50 Hzの地域にお住まいの場合：520 W
- 60 Hzの地域にお住まいの場合：650 W

電源を入れるには

ドアを開けると電源が入り、モード「あたため 500W」のランプが点灯します。
そのまま放置すると、5分後に消灯します。

操作部

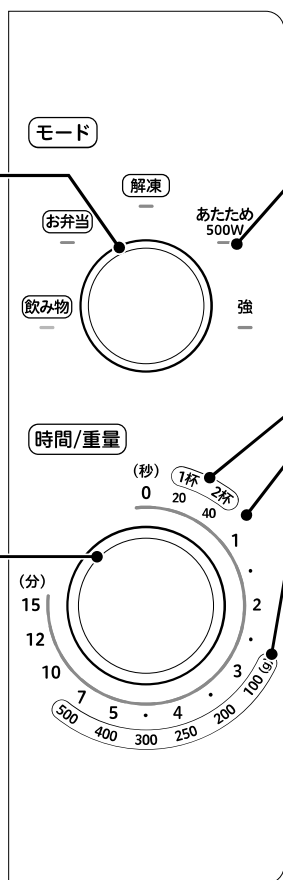
モードダイヤル

ダイヤルを回して加熱モードを選びます。

▶「本機でできること」参照

時間／重量ダイヤル

ダイヤルを回して時間／重量／杯数を設定します。



ランプ

選んだモードのランプが点灯します。

杯数表示

時間／重量／杯数に対応するランプが点灯・点滅します。

時間表示

加熱中は、残り時間が点滅します。

重量表示

選んだモードにより、時間／重量ダイヤルで設定できる内容が異なります。

モード	設定の内容	設定値
お弁当	重量	250 g/400 g
飲み物	杯数	1杯/2杯
解凍	重量	100 g/200 g/300 g/400 g/500 g
あたため 500W 強	加熱時間	1分未満：20秒単位 1～5分：30秒単位 以降、7分、10分、12分、15分

本機でできること

手動調理

お好みの出力(W)と時間を設定して、あたためを行います。▶ **12 ページ**
モード[あたため500W]または[強]→加熱時間(最大15分)

自動調理

出力(W)と時間を設定せずにあたためや解凍を行います。

▶ お弁当 ▶ **14 ページ**

重量[250 g]または[400 g]



250 g

例) 鶏そぼろ弁当のような
小さめのお弁当



400 g

例) ごはんとおかずが分かれ
ている幕の内弁当

▶ 飲み物 ▶ **16 ページ**

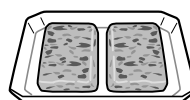
杯数[1杯]または[2杯]



- 牛乳
- コーヒー
- お茶

▶ 解凍 ▶ **18 ページ**

重量[100 g] ～ [500 g] (100 g単位)



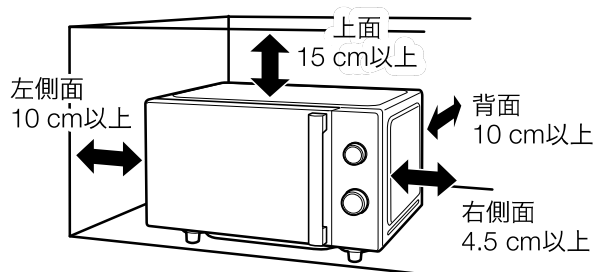
- ひき肉

据え付けの確認

設置場所について

火災を防ぐために、壁や家具など周囲の可燃物から右図の距離を離して設置してください。

→「設置に関する注意事項」5ページ



重要

左右いずれか1面を開放する。

樹脂製の、熱に弱い壁や家具などの場合は、さらに距離を離す。

不安定な場所や熱に弱い物の上、近くでは使わない。

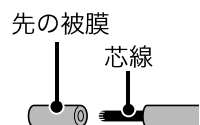
- じゅうたん、ふとん、畳、テーブルクロス、布、紙、プラスチックの置台、塗装を施してある台や家具などの上や近く、カーテンなどの燃えやすい物のそばなどで使わないでください。変色、変形、火災の原因になります。

壁面がガラスの場合、20 cm以上あける。

温度差で割れる原因になります。

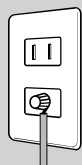
アース線の取り付けについて

▶ コンセントにアース端子がある場合



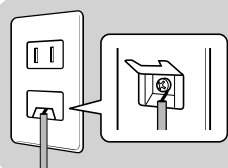
アース線先端の被膜を取ってください。このとき、芯線を傷つけないように注意してください。

アース端子の例



つまみタイプ

つまみを緩め、ねじ部分にアース線先端の芯線を巻きつけ、つまみを締めてください。



ふた付タイプ

ふたを開けてドライバーでねじを緩め、ねじ部分にアース線先端の芯線を巻きつけます。ドライバーでねじを締め、ふたを閉めてください。

▶ コンセントにアース端子がない場合

アース接地工事(電気工事有資格者によるD種接地工事)を行ってください。工事はお買い上げの販売店にご相談ください。

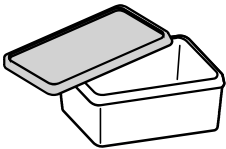
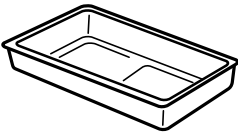
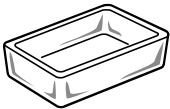
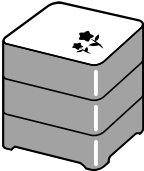
次の場合は、感電事故を防止するため電気工事有資格者による、D種接地工事が法律で義務づけられています。

- 湿気の多い場所
水蒸気が充満する場所、土間・コンクリート床、酒・しょうゆなどを醸造または貯蔵する場所
- 水気のある場所(漏電遮断機の取り付けも義務付けられています)
水を取り扱う土間、洗い場など水気のある場所
地下室など常に水滴が漏出したり、結露する場所

○使える容器・×使えない容器

ご注意

- ・プラスチック類は家庭用品品質表示法に基づく耐熱温度表示をご覧ください。
- ・材質や耐熱温度がわからない容器は使わないでください。
- ・市販のレンジ加熱用金属製調理器具は使わないでください。故障の原因になります。

容器の種類		○ 使える / × 使えない
プラスチック容器・シリコン容器	耐熱温度140℃以上のプラスチック容器・シリコン容器 ポリプロピレン製など 	○ ただし、次のものは使えません。 ・油脂・糖分・塩分の多い食品、ケチャップなど（高温になるため） ・「電子レンジ使用可」表示のない容器 ・密閉性の高いふた、熱に弱いふた
	その他のプラスチック容器 	× 耐熱温度が140℃未満のもの（ポリエチレン、スチロール樹脂など）や、耐熱温度が高くても電波で変形するもの（メラミン、フェノール、ユリア樹脂、アルミなどで表面加工した樹脂など）は使えません。
陶器・磁器	耐熱性のある陶器・磁器 ココット皿、グラタン皿など 	○
	日常使っている陶器・磁器 茶碗、皿など 	○ ただし、次のものは使えません。容器を傷めたり、火花（スパーク）が出ることがあります。 ・金・銀を使った容器 ・色絵が付いた容器、ひび模様のある容器
ガラス容器	耐熱性のあるガラス容器 	○ ただし、加熱後に急冷すると割れることがあります。
	耐熱性のないガラス容器 強化ガラス、クリスタルガラス、カットグラスなど 	×
その他	ラップ類 耐熱温度が140℃以上のもの 	○ ただし、砂糖、バター、油を使った料理は高温になり、ラップが溶けるため使えません。
	アルミ・ステンレス・ホーローなどの金属製容器・アルミ箔 	× 電波を反射するため使えません。庫内壁面、ドア、テーブルプレートに触れると火花（スパーク）が出て、破損や故障の原因になります。
	竹・木・藤・紙・ニス塗り・漆塗り容器など 	× 焦げたり、塗りがはげたり、ひび割れすることがあるため使えません。特に針金を使っているものは燃えやすくなります。

手動調理：出力と時間を設定してあたためる

警告



食品・飲み物は加熱しすぎない

発煙・火災の原因になります。

飲み物は取り出すとき飲み物が突然沸とう(突沸)して飛び散り、やけど・けがの原因になります。

時間を控えめに設定し、調理中、様子を見ながら加熱してください。

1 食品を庫内中央に置き、ドアを閉める

- 食品を量に合った耐熱性の容器に入れ、庫内中央に置きます。食品により、ふたやラップをします。

➔「使える容器・使えない容器」**11ページ**

➔「加熱時間のめやす」**13ページ**

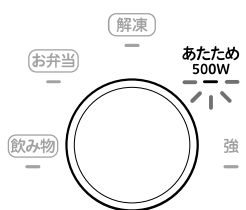
2 モードダイヤルを回して、[あたため500W]または[強]を選ぶ

- [強]の出力は、地域によって異なります。

➔「強の出力について」**8ページ**

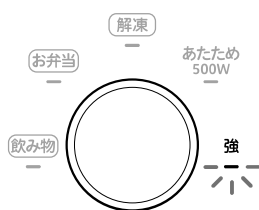
[あたため500W]を選んだとき

モード



[強]を選んだとき

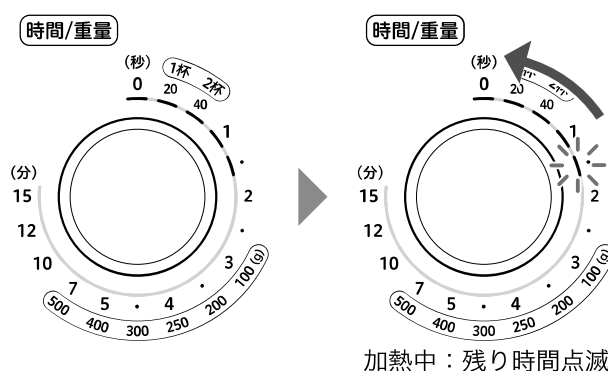
モード



3 時間/重量ダイヤルを回して、加熱時間を設定する

- 対応する時間のランプが点灯します。
- 設定可能時間：20秒～15分
- 加熱時間の設定単位
1分未満：20秒単位
1～5分：30秒単位
以降、7分、10分、12分、15分

例) 1分30秒に設定するとき
→1と2の間の「・」まで点灯させる



- 加熱時間を設定すると自動的に加熱を開始し、残り時間が点滅します。
- 加熱中にダイヤルを回して加熱時間を増減できます。1回の調理で設定できる時間は、増やせる時間を含め15分までです。

途中で加熱を止めるときは

時間/重量ダイヤルを[0]の位置に戻します。

4 ブザーが鳴ったら食品を取り出す

- 取り忘れがあると、1分ごとにブザーが鳴りお知らせします。(5分間)

ご注意

- 加熱を繰り返し行くと、製品保護のため、自動的に出力を下げる場合があります。5分ほど時間をおいてから加熱してください。

手動調理：加熱時間のめやす

手動調理で出力と時間を設定する際の加熱時間のめやすです。加熱時間は食品の分量にほぼ比例します。

ご注意

- 食品の形状や保存状態、温度によっては、うまくあたたまらなかったり、うまく解凍できなかったりすることがあります。
- 薄く小さく切った野菜(ミックスベジタブルなど)を少量加熱すると、火花(スパーク)が出て焦げることがあります。

▶ あたため

	食品名	ラップの有無	分量	加熱時間 (500 W)
ご飯類	ごはん	—	1杯(150 g)	約1分
	みそ汁・スープ		1人分 (150 ml)	1分～ 1分30秒
汁物	カレー・シチュー	有	1人分 (150 g)	1分30秒 ～ 2分
	野菜の煮物	—	1人分 (150 g)	1分～ 1分30秒
その他	あんまん・肉まん	有	1個(100 g)	約40秒
	シュウマイ		120 g (9個)	約1分

▶ 冷凍した食品の冷凍あたため

食品名	ラップの有無	分量	加熱時間 (500 W)
冷凍ごはん	有	1杯(150 g)	約2分30秒
冷凍カレー・シチュー		1人分 (150 g)	約5分
冷凍あんまん・肉まん		1個(100 g)	約1分30秒
冷凍チャーハン・ピラフ		1人分 (250 g)	約5分
冷凍ハンバーグ		1人分(100 g)	約3分30秒
冷凍シュウマイ		120 g (9個)	約2分30秒

▶ 飲み物

食品名		ラップ の有無	分量	加熱時間 (500 W)
飲み物	牛乳	—	1杯 (200 ml)	1分30秒 ～ 2分
	コーヒー		1杯 (150 ml)	1分～ 1分30秒
	酒かん		180 ml	約1分
	水		1杯 (150 ml)	
	お茶			1分～ 1分30秒

▶ 解凍

加熱後、約5分放置して自然解凍します。

食品名	ラップの有無	分量	加熱時間 (500 W)
ひき肉	—	100 g	約40秒
薄切り肉		100 g	約20秒

おしらせ

- 市販の冷凍食品は、パッケージの指示に従って、あたためてください。
- 飲み物の設定時間は、加熱前の温度が下記のときの時間です。
 - 牛乳：約10℃
 - コーヒー、酒かん、水、お茶：約20℃

▶ 野菜

	素材名	調理のコツ	ラップの有無	分量	加熱時間 (500 W)
葉菜	ほうれん草	太い茎には切れ目を入れ、葉先と根元を交互に並べてラップで包み、皿に置く。加熱後、冷水に取ってアク抜き、色止めをする。	有	100 g	約1分30秒
	キャベツ	芯を削ぎ落とし、8 cm幅くらいのざく切りにしてラップで包み、皿に置く。			約2分30秒
花・果菜	ブロッコリー	小房に分けて洗い、皿の中央に置き、ラップをゆったりかける。加熱後、冷水に取って色止めをする。		150 g	約4分
	かぼちゃ	2～3 cm幅に切り、皮を下にして皿に並べ、ラップをゆったりかける。			約3分
根菜	にんじん	1 cm幅に切り、皿に並べてラップをゆったりかける。		1個 (150 g)	約4分
	じゃがいも	丸ごとのときは洗った水気を残し、皿の中央に置いてラップをゆったりかける。切るときは皮付きのまま4等分に切って皿の中央に置いてラップをゆったりかける。			

自動調理：お弁当をあたためる

警告



- 少量のお弁当(100 g未満)や小さい食品を加熱しない
(例：からあげ、しゅうまいなどの小分けのお惣菜、おにぎりなど)
過加熱となり、食品が発火する原因になります。手動調理(あたため500W、強)で加熱時間を20秒または40秒に設定し、様子を見ながら加熱してください。➡ **12ページ**

あたためられるお弁当

コンビニエンスストアやスーパーマーケットで売られている、「レンジ加熱」の表記のあるお弁当



250 g

例) 鶏そばろ弁当のような
小さめのお弁当



400 g

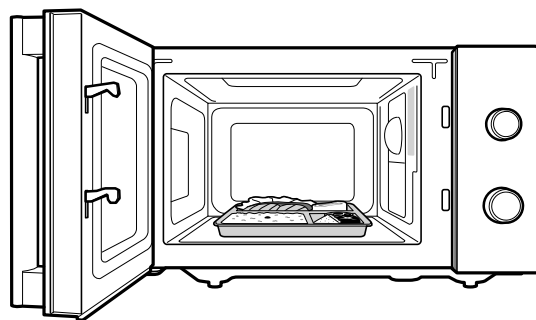
例) ごはんとおかずが分かれて
いる幕の内弁当

おしらせ

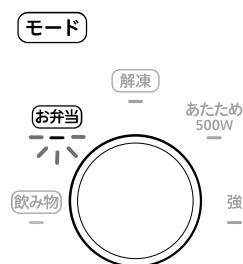
- お弁当の種類によって、あたため具合が異なります。
- 揚げものは熱めに、厚みのある食品はぬるめになることがあります。
- 漬けものなどもあたためます。

1 お弁当を庫内中央に置き、 ドアを閉める

- 必ず包装しているラップやふたを外し、
庫内中央に置きます。
- ➡「使える容器・使えない容器」 **11ページ**



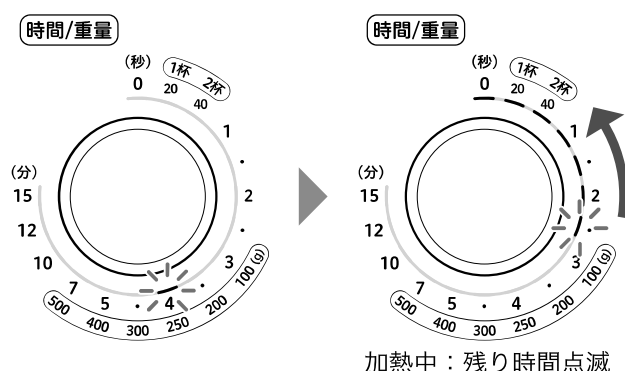
2 モードダイヤルを回して、 [お弁当]を選ぶ



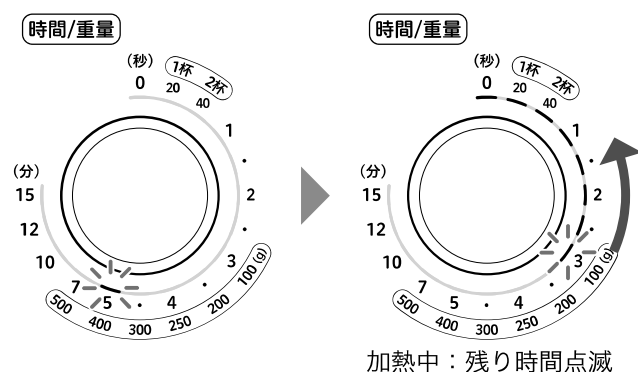
3 時間／重量ダイヤルを回して、重量[250 g]または[400 g]を設定する

- [250 g]または[400 g]の位置まで回すと、対応するランプが点滅します。
- 重量を設定すると自動的に加熱を開始し、残り時間が点滅します。

[250 g]を選んだとき



[400 g]を選んだとき



途中で加熱を止めるときは

時間／重量ダイヤルを[0]の位置に戻します。
加熱が止まり、モードと重量／杯数の設定が取り消されます。

4 ブザーが鳴ったらお弁当を取り出す

- 取り忘れがあると、1分ごとにブザーが鳴りお知らせします。(5分間)

再加熱するには

手動調理(あたため500W、強)で加熱時間を設定し、食品の様子を見ながら加熱してください。

| 自動調理：飲み物をあたためる

⚠ 警告



・飲み物は加熱しすぎない(突沸に注意)

取り出すとき飲み物が突然沸とう(突沸)して飛び散り、やけど・けがの原因になります。

加熱前、加熱後によくかき混ぜてください。

1 飲み物を庫内中央に置き、ドアを閉める

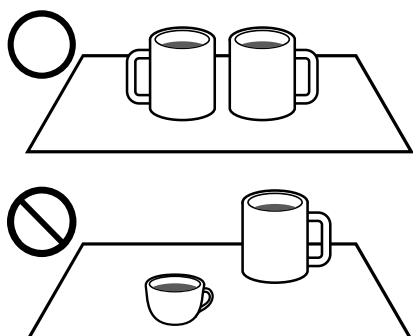
飲み物の種類	1杯分の分量	加熱前の温度の目安
牛乳	200 ml	約10℃
コーヒー	150 ml	約20℃
お茶		

- ・ 広口で背の低い容器(コップ、マグカップなど)を使います。
 - ・ ラップはせず、飲み物を庫内中央に置きます。
 - ・ 容器の7～8分目が適量です。
- ➡「使える容器・使えない容器」**11ページ**

ご 注 意

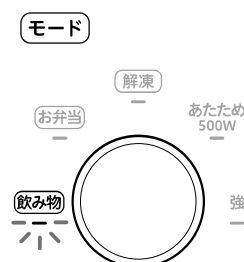
- ・ 飲み物を2杯あたためるときは、分量を揃えて、庫内中央に並べて置いてください。

飲み物の種類や量、容器が異なると、うまくあたたまらないことがあります。



- ・ ペットボトルや缶入りの飲料をそのまま加熱しないでください。容器が破裂したり、中味が噴き出す原因になります。

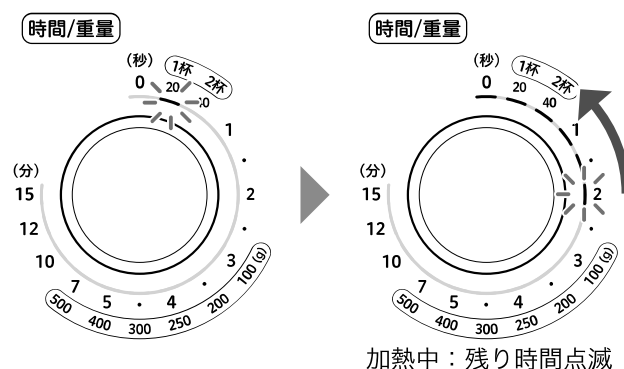
2 モードダイヤルを回して、[飲み物]を選ぶ



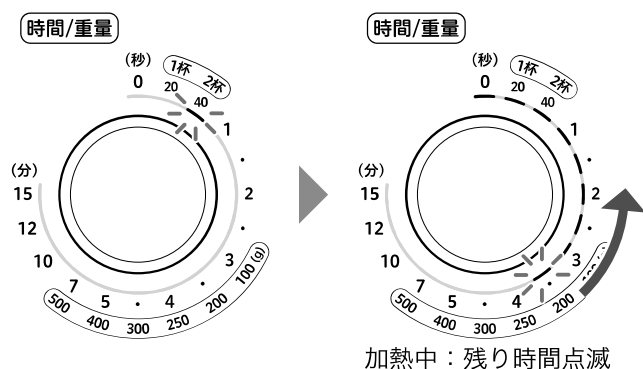
3 時間/重量ダイヤルを回して、杯数[1杯]または[2杯]を設定する

- ・ [1杯]または[2杯]の位置まで回すと、対応するランプが点滅します。
- ・ 杯数を設定すると自動的に加熱を開始し、残り時間が点滅します。

[1杯]を選んだとき



[2杯]を選んだとき



途中で加熱を止めるときは

時間／重量ダイヤルを[0]の位置に戻します。
加熱が止まり、モードと重量／杯数の設定が取り消されます。

4 ブザーが鳴ったら飲み物を取り出す

- 取り忘れがあると、1分ごとにブザーが鳴りお知らせします。(5分間)

再加熱するには

手動調理(あたため500W、強)で加熱時間を設定し、食品の様子を見ながら加熱してください。

| 自動調理：解凍する

ご注意

次のような食品は様子を見ながら加熱してください。

- 分量が100 g未満の食品
- 冷凍庫から出してしばらく時間のたった食品
- 溶けかけている食品
- 刺身

1 食品を庫内中央に置き、ドアを閉める

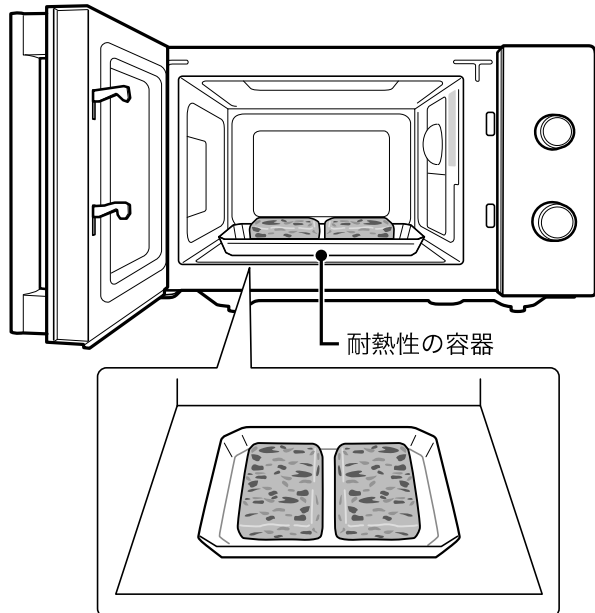
大きさのめやす

- ひき肉：

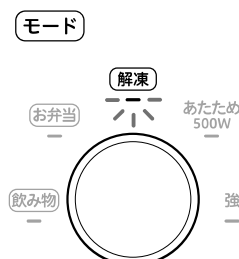
厚さ約2 cm、分量100 g ～ 500 g

- 冷凍庫から取り出した食品を量に合った耐熱性の容器に入れ、庫内中央に置きます。ラップなどの包装は外してください。

➡「使える容器・使えない容器」11ページ



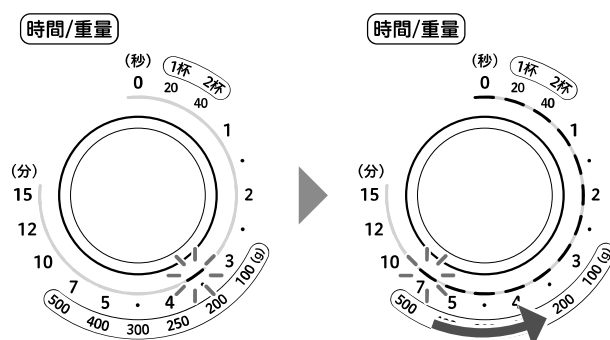
2 モードダイヤルを回して、[解凍]を選ぶ



3 時間／重量ダイヤルを回して、重量[100 g] ～ [500 g]を設定する

- [100 g] ～ [500 g] (100 g 単位)の位置まで回すと、対応するランプが点滅します。
- 重量を設定すると自動的に加熱を開始し、残り時間が点滅します。

例) 200 gを選んだとき



加熱中：残り時間点滅

途中で加熱を止めるときは

時間／重量ダイヤルを[0]の位置に戻します。

加熱が止まり、モードと重量／杯数の設定が取り消されます。

4 ブザーが鳴ったら食品を取り出す

- 取り忘れがあると、1分ごとにブザーが鳴りお知らせします。(5分間)

ご注意

- 形状や肉質、冷凍状態、温度によっては部分的に煮えたり、固めになったり、凍った部分が残ったりすることがあります。

再解凍するには

再度、モード[解凍]を選び、重量を設定して、食品の様子を見ながら解凍してください。

お手入れのしかた

ご注意

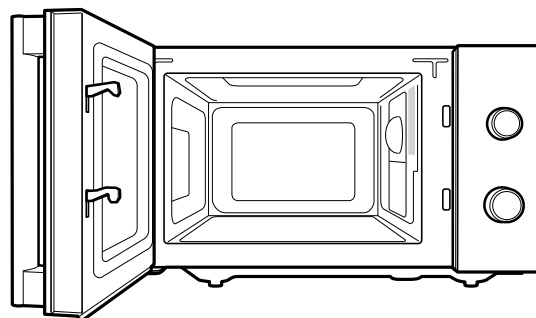
- ・庫内壁面やドア内側に食品くずなどの異物を付けたままにすると、火花(スパーク)や炎が出たり、さびや悪臭の原因となります。お使いのたびにお手入れをしてください。
- ・お手入れは、必ず電源プラグをコンセントから抜いて本体を冷ましてから行ってください。
- ・本体を丸洗いしたり、水に浸したりしないでください。また、本体や操作部に水をかけたりしないでください。感電・ショート・火災・故障の原因になります。
- ・シンナー・ベンジン・粉末クレンザー・みがき粉・たわし・ナイロンや金属製のたわしは使わないでください。表面に傷が付く原因になります。

庫内壁面・ドア内側・テーブルプレート

固く絞ったぬれふきんで拭きます。

汚れがひどいときは、台所用中性洗剤を含ませた布で拭き取り、その後固く絞ったぬれふきんで洗剤を拭き取ってください。

テーブルプレートの汚れが落ちにくいときは、汚れた部分に液体クレンザー（クリームクレンザー）を付け、2分程度置いて、丸めたラップでこすって汚れを落とした後、ぬれふきんで洗剤を拭き取ります。



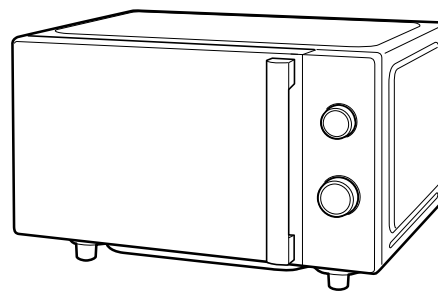
ご注意

- ・テーブルプレートの周囲のシール材は強くこすらないでください。

本体(外側)

やわらかいふきんで拭きます。

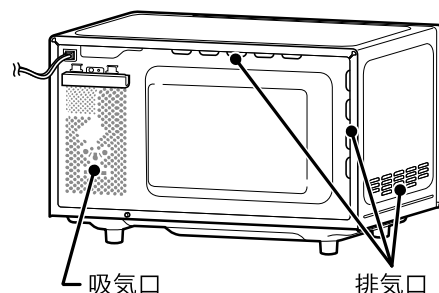
汚れがひどいときは、固く絞ったぬれふきんに台所用中性洗剤を含ませて拭き取ってください。



吸気口・排気口

乾いた布でほこりを拭き取ってください。

ほこりがたまると、換気できずに故障・火災の原因になります。



うまく仕上がらないときは

こんなとき		ここを確認してください
あたたため	上手に加熱できない	▶ 連続して加熱していませんか。庫内が高温になると出力を下げて運転するため、上手に加熱されない場合があります。5分ほど時間をおいてから加熱してください。
	食品があたたまらない	▶ - 食品は庫内の表示を参考に、正しい位置に置いて使用してください。 - アルミホイルで覆われていると加熱されません。
	冷凍食品があたたまらない	▶ 市販の冷凍食品はパッケージの記載に従って、様子を見ながら手動で加熱してください。
	加熱ムラがある	▶ 食品の厚みをそろえてください。
	ごはんが上手に加熱できない	▶ - ごはんを入れた容器は、テーブルプレート中央に置いてください。 - 加熱が足りないときは、様子を見ながら手動で加熱してください。
	ごはんがパサつく	▶ 加熱前に霧を吹いたり、水を少量かけるとしっとりと仕上がります。
	汁物を加熱すると熱い部分とぬるい部分がある	▶ 加熱後にかき混ぜてください。
	タレが飛び散る	▶ - タレは加熱後にかけてください。 - 深めの耐熱容器に入れ、ラップをして様子を見ながら手動で加熱してください。
	煮汁が飛び散る	▶ 汁気を切り、深めの耐熱容器に入れ、ラップをして様子を見ながら手動で加熱してください。
飲み物	フライや天ぷらがべとつく	▶ キッチンペーパーを敷いた耐熱容器の上に並べ、様子を見ながら手動で加熱してください。
	熱くなりすぎる	▶ - 分量が少ないと沸とうする場合があります。広口のマグカップなどに7～8分目まで入れてください。 - 時間／重量ダイヤルをあたためる杯数に合わせてください。 - 上手に加熱できない場合は様子を見ながら手動で加熱してください。
	容器の上の方と下の方で、温度が異なる	▶ 加熱前と加熱後によくかき混ぜてください。
解凍	上手に解凍できない	▶ - 食品の厚みや形が不均一だと、加熱ムラが発生します。 - 解凍するときは、種類、大きさをそろえてください。

| 故障かな？と思ったら

こんなとき	ここを確認してください
本体が作動しない	▶ ご家庭のブレーカーが切れていませんか。電源プラグが抜けていませんか。ドアを開けたとき、操作部のランプが点灯しますか。ドアを開けても動かないときは、お買い上げの販売店または家電の119番にお問い合わせください。
加熱終了後、ファンが回る作動音がする	▶ 故障ではありません。加熱終了後、庫内を冷却するためにファンが回ることがあります。（ドアを開けても回ります。）冷却が終わると自動的に止まります。作動中はコンセントを抜かないでください。
運転中、「カチカチ」や「ポコン」という音がする	▶ 異常ではありません。出力を切り替えるスイッチの作動音です。熱により庫内壁面が膨張し、音が鳴ることがあります。
加熱終了後、何度もブザー音が鳴る	▶ 異常ではありません。食品の取り忘れをお知らせするブザー音です。加熱終了後、1分ごとにブザー音が鳴ります。（5分間）
火花・異常音が出る	▶ • 金属製の容器や金銀模様のある容器、金串などを使用していませんか。 • ミックスベジタブルや小さく切った根菜類（さつまいも、にんじんなど）を少量で加熱していませんか。 • 庫内壁面やドアガラスにアルミホイルが触れていませんか。庫内が汚れていませんか。
庫内に水滴が付着する	▶ 食品によっては、食品から出た水蒸気で水滴が付着することがあります。かたく絞った布で拭き取ります。
ドアと本体の間から蒸気が漏れる	▶ 庫内の蒸気量によって蒸気が漏れることがありますが、加熱など性能上の影響はありません。

| 仕様

品名(型番)	電子レンジ(ANGV-MOF17-A)		
電源	交流100 V、50/60 Hz共用		
消費電力	900 W/1200 W		
高周波出力	520 W (50 Hz)* ¹ 、650 W (60 Hz)* ¹ 、500 W相当		
発振周波数	2450 MHz		
質量(約)	10.8 kg		
外形寸法	幅440 mm × 奥行335 mm × 高さ279 mm		
加熱室有効寸法	幅307 mm × 奥行300 mm × 高さ200 mm		
電源コードの長さ(約)	1.5 m		
消費電力量 のめやす*2	区分名	A:単機能レンジ	
	電子レンジ機能の年間消費電力	58.7 kWh/年	
	年間待機消費電力	1.3 kWh/年	
	年間消費電力量	60.0 kWh/年	
原産国	中国		

*¹ 定格高周波出力520 W (50 Hz) / 650 W (60 Hz)は短時間高出力機能(最大約15分)であり、定格連続高周波出力は350 Wです。350 Wには自動的に切り換わります。

*² 年間消費電力量は省エネ法・特定機器「電子レンジ」測定方法による数値であり、区分名も同法に基づいています。実際お使いになるときの年間消費電力量は、使用回数や使用時間、食品の量、周囲環境によって変化します。

重 要

この製品は、日本国内用に設計・販売しています。日本国外では使用できません。
海外での修理や部品販売などのアフターサービスも対象外となります。

| アフターサービス

▶ 修理を依頼されるときは

- 「故障かな?と思ったら」(21ページ)をご確認ください。それでも異常があるときは使用を中止し、電源プラグを抜いてください。
- 保証書・お買い上げレシートを準備し、お買い上げの販売店または家電の119番にお問い合わせください。

▶ 保証書

保証書は所定事項の記入及び記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

《保証期間中》

保証書の内容に従って修理いたします。

《保証期間が過ぎている場合》

修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

《その他ご不明な場合》

修理に関するご相談並びにご不明な点は、お買い上げの販売店または家電の119番にお問い合わせください。

▶ 補修用性能部品の最低保有期間

弊社は補修用性能部品を製造打ち切り後最低8年間保有しております。

※補修用性能部品とは、その製品の性能を維持するために必要な部品です。

▶ 修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料： 診断・故障箇所の修理及び部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

部品代： 修理に使用した部品および補助材料代です。

出張料： お客様のご依頼により、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

ご相談窓口・修理窓口のご案内

お取り扱い・修理に関してはお買い上げの販売店へご相談ください

※お買い上げの販売店にご依頼できない場合(転居や贈答品など)は各窓口へお問い合わせください

▶ お客様の個人情報の取り扱いについて

ご提供いただいたお客様の個人情報は、ご意見・ご質問への回答および弊社のお客様サービス向上のために利用させていただきます。

ご質問の内容によりましては、適切な回答のためにエディオングループ、および関係会社に情報を提供する場合がございます。その他、ご提供いただいたお客様の個人情報はエディオングループ個人情報保護方針に基づいてお取り扱いいたします。

エディオングループ個人情報保護方針：<https://www.edion.co.jp/privacy>

ご相談窓口 ～製品に関するお問い合わせ～

エディオンお客さま相談センター

ナビダイヤル  **0570-07-0557** (有料)

受付時間：月曜日～金曜日 **9:30 ～ 18:30**
(土日祝・年末年始除く)

〒530-0005 大阪府大阪市北区中之島二丁目3番33号 大阪三井物産ビル

- お電話は番号をよくお確かめの上、お間違いのないようにおかけください。
- 所在地・電話番号・受付時間などについては、変更になることがあります。
(2024年9月時点)

修理窓口 ～修理に関するお問い合わせ～

家電の119番

ナビダイヤル  **0570-06-0119** (有料)

受付時間：月曜日～日曜日 **9:00 ～ 19:00** (年中無休)
※年末年始に関しては受付時間が変更になる場合がございます。

- お電話は番号をよくお確かめの上、お間違いのないようにおかけください。
- 電話番号・受付時間などについては、変更になることがあります。
(2024年9月時点)